

2018 年度

支援者のための研修会

アタッチメントをとらえなおす

～ 児童相談所の現場に学ぶ ～

児童相談所における虐待対応の流れやそこに至る手続きなどに関する情報や知識を改めて共有し、さらに虐待対応の現場から見える現代の親子関係・家族関係の様相についても知識を深める中で、保育教育現場における関係性のとらえ方や、児童相談所やその他の専門機関との連携の在り方などを具体的に学びます。

2018 年 **11 月 13 日** (火) 18:30 ～ 20:30

7 月 17 日 (火) 申込受付開始

講師：西澤 康子 氏

東京都児童相談センター 事業課 児童心理専門課長



■会場

白梅学園大学・白梅学園短期大学
(西武国分寺線「鷹の台」駅下車 徒歩 15 分)

■受講定員

150 名 (定員になり次第締め切ります)

■受講料

1,000 円

※申込み確認後、送付される振込用紙にて支払期限日までにお支払ください。

■申込み方法

右記 QR コードを読み取り WEB サイトからお申込みいただくか、申込書を記入の上、下記宛先へ FAX または郵送にてお申込みください。



■主催 (申込み先)

白梅学園大学・白梅学園短期大学 発達・教育相談室
〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
TEL 042-313-5990 FAX 042-346-5652
<http://daigaku.shiraume.ac.jp/openlecture/>

次回予告

12 月 15 日 (土) 開催

詳しくは裏面をご覧ください。

アタッチメントをとらえなおす

～ 今、保育教育現場で親子を支えることとは ～

遠藤 利彦 氏 東京大学大学院教授 汐見 稔幸 白梅学園大学大学院客員教授
時間：13:30 ～ 16:30 会場：白梅学園大学 受講料：1,000 円 定員：150 名

2018 年度

支援者のための研修会

アタッチメントをとらえなおす

～ 今、保育教育現場で親子を支えることとは ～

日本社会の中では、従来親子関係というものがか絶対的なものという価値観があり、親子関係が不全ないしはそもそも持てない子どもは人生の初期から大きなハンディを持たされているような感覚があったように思われます。一方ではそうした親子関係の絶対性が、親という存在に圧力ともなってきました。しかし、家族関係や親子関係の様相が多様化している現在、アタッチメントの在り方や形成の仕方、またそれが子どもに与える影響について、新たな知見や価値観が見いだされたり語られ始めています。遠藤先生には、最新のアタッチメント研究の成果と動向をお話していただきながら、私たちが従来のアタッチメント概念をとらえなおし、広げていくことをサポートしていただきます。また、遠藤先生と汐見先生の対談では、保育教育現場で私たちが、現代の子育てに悩む親とその子どもたちに対して何ができるのかを語り合っていただきます。

2018年 **12月15日** (土) 13:30～16:30

7月17日(火) 申込受付開始

講演 13:30～15:00 (90分)

遠藤 利彦 氏 東京大学大学院教授

シンポジウム 15:10～16:30 (80分)

遠藤 利彦 氏 東京大学大学院教授

汐見 稔幸 白梅学園大学大学院客員教授

■会場

白梅学園大学・白梅学園短期大学
(西武国分寺線「鷹の台」駅下車 徒歩15分)

■受講定員

150名(定員になり次第締め切ります)

■受講料

1,000円

※申込み確認後、送付される振込用紙にて支払期限日までに
お支払いください。

■申込み方法

右記QRコードを読み取りWEBサイトからお
申込みいただくか、申込書を記入の上、下記
宛先へFAXまたは郵送にてお申込みください。



■主催(申込み先)

白梅学園大学・白梅学園短期大学 発達・教育相談室
〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
TEL 042-313-5990 FAX 042-346-5652
<http://daigaku.shiraume.ac.jp/openlecture/>

7月17日(火) 申込受付開始

11月13日(火) 開催

詳しくは裏面をご覧ください。

アタッチメントをとらえなおす

～ 児童相談所の現場に学ぶ ～

西澤 康子 氏 東京都児童相談センター 事業課 児童心理専門課長

時間：18:30～20:30 会場：白梅学園大学 受講料：1,000円 定員：150名